

5年生 個別級 『固有種が教えてくれること・グラフや表を用いて書こう』

単元の目標	本校、個別支援学級(個に応じた)としての目標	①「固有種」とは何かを知り、固有種が何を教えてくれるのかに、関心をもちながら読む。 ②文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。 ③筆者の説明の工夫を生かし、学校図書館を利用して調べた統計資料を根拠に、意見文を書く。 ④自分の書いた文章を、友達や先生と一緒に見直す。「推敲」という言葉を知り、推敲を経験する。	
	【知識及び技能】 文章と図表等を結び付けて内容をとらえ、読者に主張が伝わりやすくするための文章の構成や展開を理解することができる。	【思考力、判断力、表現力】 読者や筆者の立場に立って、資料を用いた文章の効果や論の進め方の工夫を読み取ろうとし、筆者の意図を自分なりに表現しようとする。	【学びに向かう力、人間性】 「固有種」が何を教えてくれるのかに関心をもちながら、意欲的に文章に関わり、筆者の説明の仕方とその効果について、考えようとする。

次	学習活動	具体的支援	担当
1	本を使って「どの地域に多く生息しているか」日本の固有種の分布を調べる。	先生が用意してくれた固有種のシール(名前と写真)を、児童が本を使って索引で調べ、地域別(北海道・本州・四国・九州、小笠原諸島、南西諸島)、類別(哺乳類、鳥類、魚類、両生類・爬虫類、昆虫)に分類する。	担任・学校司書
2	作成した分布図をグラフや表にまとめて分析する。	分かったこと、自分で考えたこと、疑問・調べてみたいことを書く。	担任
3	「わかったこと」「調べたいこと」をKWLの思考ツールを使って深める。	自分が調べたいことを決定する。	担任・学校司書
4	決定したテーマについて、本を使って調べる。	調べたことを「情報カード」に書く。	担任・学校司書
5	作成したグラフや表、情報カードを元に、意見文を書く。参考文献を最後に書く。	音声入力	担任
6	書いた意見文を推敲する。	「意見文を読み直して、もっとかっこ良くしよう」ということで、図書館で類語辞典を用いて、文中何度も出てきた『わかる』『たくさん』などの言葉を言い換えたり、読む人に伝わりやすいように接続詞を考えたりして、意見文を推敲した。	担任・学校司書
7	意見文を清書する。	音声入力	担任

索引を使って本で固有種を調べて分類した表



情報カード

調べたいこと	調べた日にち
調べたこと わかったこと ※引用 (そのままぬきだす) ※要約(まとめる) 〇 ちらかに〇をする	
書名(調べた本の題名)	発行所(出版社)
著者(本を書いた人の名前)	発行年(出版年) 新しい方の日付